

取組の背景

- 白大豆は地域における土地利用方作物の中心として、大規模水稻農家や集落営農組織が取り組んでいる
- 白大豆は地元加工業者((有)やさか共同農場)が地元産にこだわったブランド味噌(やさかみそ)の原料として、強い需要があった
- 地元加工業者、JALしまね、地元集落営農組織が連携し、大豆生産のための機械整備と作業受託体制を整え、生産拡大に取組み、水田フル活用ビジョンの中心作物と位置づけ、生産振興を図っているところ。

取組概要

- 平成10年に弥栄町集団転作大豆推進協議会(構成員:生産者組織、JA、市役所)を立ち上げ、管内の大豆生産の中心となっている
 - 地元加工業者との契約栽培、全量買取 ○浜田市の単独助成を5,000円/10a支援を実施
 - 産地交付金で、集積助成(25,000~20,000/10a)と、不耕起密植栽培について、10,000円/10aを支援
- 産地交付金の支援経過 (千円/10a)

	H25	H26	H27	H28	H29
集積助成	10,000	20,000	30,000~ 20,000	25,000~ 20,000	25,000~ 20,000
不耕起密植栽培助成	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

※集積要件 28年20a以上、29年30a以上



成果・将来の展望

- 作付面積(=契約面積)は年々拡大。また、一戸あたりの作付面積34.8aまで拡大
- 地元加工業者の需要量を満たしていないことから、今後も作付面積の拡大(約50ha)を図る。



	25年	26年	27年	28年	29年(予定)
作付面積(ha)	29.6	29.9	32.6	33.3	35.5
1戸当たり作付け面積(a)	20.1	24.2	29.8	33.7	34.8